

# 整形外科

## ■一般目標 GIO

- ・ 整形外科研修としての知識、救急外傷への対応能力および基本手術手技を身に付け、同時に科として必要なリハビリテーションの理論を学ぶ。
- ・ 整形外科研修の実を上げるため、整形外科の患者を主治医団の一員として受け持ち、診断、検査、手術を含めた治療計画、そしてリハビリテーションのプログラムを組み立てる。
- ・ 積極的に主治医団、PT・OTを含めたカンファレンスに参加する。

## ■行動目標 SBO

- ① 上級医(日本整形外科学会指導医、以下指導医)の指導の下、担当患者の病態を把握、適切な治療計画を立案し、明確な指示を出す能力を養う。
- ② 救急外傷を含め、適切かつ迅速に診察を行い、単純 X 線、CT、MRI 等基本的画像診断を可能足らしめる。
- ③ 受け持ち患者の診断、検査、治療の見通しを指導医にプレゼンテーションし、ディスカッションする。
- ④ リハビリテーションを必要とするケースに対して、PT・OT に適切に説明・指示を出せる。
- ⑤ 救急外傷の初期対応に積極的に参加し、必要に応じ専門医への適切な相談が出来る。
- ⑥ リウマチ関節外科に際し、関節の診察・評価が出来ること。
- ⑦ 脊椎外科に際し、神経学的所見の診察・評価が出来ること。
- ⑧ 合併症を抱えた高齢者の変性疾患に対し、全身的な評価が出来ること。

## ■学習方略 Learning strategy

### LS1: On The Job Training (SBO①-⑧)

- ・ 指導医の指示の下、入院患者を受け持ち診断・治療計画を行う。
- ・ 救急外傷の修練の目的で、当直・オンコール業務に参加する。
- ・ 主治医団との回診に参加し、患者の病態の変化を把握し、ディスカッションを行う。

### LS2: プレゼンテーション・ディスカッション (SBO①-⑧)

- ・ 毎朝のミーティング、週 1 回の総回診、術前術後カンファレンスに参加し、治療方針を確認する。

### LS3: リハビリテーション (SBO④)

- ・ 週1回のリハビリテーションカンファレンスに参加し、PT・OT と意見交換し、リハビリテーションの方向性を確認する。

### LS4: 臨床報告

- ・ 指導医の指導の下、研修医報告会、学会・地方会等、病院内外の研究会に積極的に参加し知見の発表の場を得る。

### LS5: 知識獲得 (SBO⑥-⑧)

- ・ 東北大学整形外科主催の勉強会、指導医の他院との間のネットワークを利用しより広く深い知識の獲得を図る。

### LS6: 救急オンコール (SBO⑤⑧)

- ・ 整形外科主治医団で構成する救急オンコール体制に参加し、整形外科の救急外傷の初期 対応を実践する。

### LS7: 講義 (SBO③④⑤)

- ・身に付けた知識の再確認とプレゼンテーションの演習の目的で、コメディカルに講義を行う。

#### LS8:手術 (SBO①-⑧)

- ・救急外傷を含め、自らの担当したケースを、指導医の指導の下、手術計画を立案しその実際を行う。
- ・手術の合併症・考えられるリスクを正しく評価する。
- ・手術所見の適切な記載を学ぶ
- ・術後カンファレンスから、次回手術への展望を得る。

#### ■評価 Evaluation

- ① 術前・術後カンファレンスで指導医とのディスカッションにより、病態の把握を行う。
- ② 研修終了時、指導医と面談し、GIO、SBOに関する評価を行い、研修医にフィードバックされる。
- ③ 総括的評価、コメディカルによる評価は、EPOC 及び病院全体で行い研修管理委員会から各研修医にフィードバックされる。

#### ■週間スケジュール

毎日 朝8時15分 主治医団全員で術前・術後・外来新患カンファレンス

月 午前 リハビリテーションカンファレンス、主治医団と総回診

午後 手術

火 午前 病棟回診・外来(指導医とともに新患)

午後 検査

水 午前 手術

午後 手術

木 午前 病棟回診

午後 外来(指導医とともにリウマチ関節外科・脊椎外科外来)

金 午前 病棟回診・外来(指導医とともに再来)

午後 手術